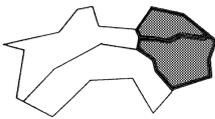




# 電機連合

# 東四国地協



No.54

電機連合東四国地方協議会

発行責任者：西川 啓二

編集責任者：横山 一男

〒763-8516 香川県丸亀市蓬萊町8番地

(三菱電機労組丸亀支部 内)

TEL: 0877-24-7599 FAX: 0877-24-7596

E-mail: denki.higashisikoku@jeiu.or.jp

ホームページ: <http://www.jeiu.jp/higashisikoku/>

## 中国・四国ブロック経営分析セミナーを開催

2014年2月7日(金)～8日(土)に岡山市北区「アークホテル岡山」において、『中国・四国ブロック経営分析セミナー』を開催しました。電機産業を取り巻く環境は、経済のグローバル化の進展に伴い産業構造の変化や企業経営体質改善の必要性を余儀なくされています。事業構造改革による合理化提案が増加している現状を踏まえて、労組役員が自社の経営状況を知ることは、労使が対等に協議し、また転ばぬ先の杖として有効な方法です。電機連合ブロックセミナーでは、各企業労組役員の経営対策活動強化の支援と地協役員・他労組役員との交流を深め情報交換することによって視野・識見を拡げることが目的に開催しています。講師の高千穂大学商学部教授 石井康彦氏は、難しい経営分析をビジネスゲームを取り入れた手法で実践しています。参加者もその手法により、理解を深めたセミナーとなりました。



## 東四国地協 福祉担当者会議を開催

2014年2月22日(土)に香川県宇多津町「ホテルサンルート瀬戸大橋」において、『東四国地協福祉担当者会議』を開催しました。電機連合福祉共済の取り組みは、相互扶助の助け合いの精神で非営利を目的として、電機連合の組合員とその家族を対象として設立されたものです。一般的な保険と違い労働組合が取り組むことで経費をかけずに安価な掛け金と充実した保障を提供することができます。今年度は、従来の「けんこう共済」「ねんきん共済」に加えて、遺族生活保障の「ファミリーサポート共済」制度が始まります。安心の幅が大きく広がり現在の保険を見直すことで、可処分所得の向上につながり日常生活費をサポートすることもできます。組合員さんへの情報提供と保険の見直しの必要性を参加者が共通認識していただけた内容となりました。



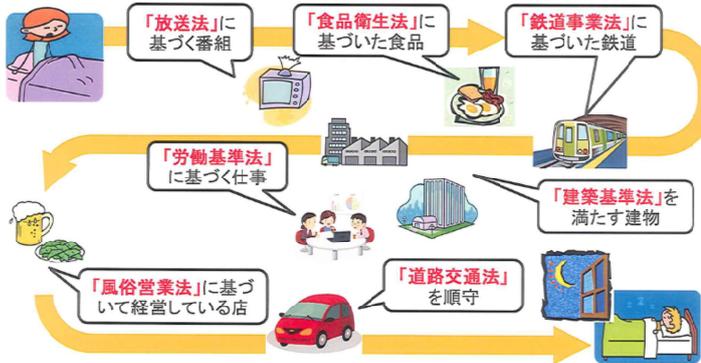
## 東四国地協 コミュニケーション行事を開催

地協加盟組合の組合員とその家族を対象とした『地協コミュニケーション行事』を3月30日(日)に香川県丸亀市「NEWレオマワールド」において開催しました。当初の企画は、遊園地内でのオリエンテーリング・昼食バイキング・親子ものづくり教室をセットとして、また希望者には「森の湯温泉」にて楽しんでいただく内容でした。当日は、昨年に引き続きあいにくの雨と強風の悪天候となり、遊園地内でのオリエンテーリングは安全を考慮して中止とさせていただきます。しかし「親子ものづくり教室」(ペットボトルエコライト製作)では、家族で創意工夫したデザインを考えた作品を完成させてホットな時間を楽しんでいただきました。オリエンテーリングでの賞品は、ジャンケン大会に変更して参加者の運が明暗を分けました。昼食後は雨もあがり遊園地や温泉等で家族での思い出づくりができたと思います。



## 東四国地協 地域改革フォーラム地域懇談会を開催

### なぜ政治に取り組むの？



・ 私たちの生活は**政治(法律)**と切り離しては成り立ちません。

4月から多くの企業で新しい1年が始まりました。桜の花も咲き誇り、春の香りは新しい気持ちも抱かせる穏やかな季節です。また4月1日からは消費税増税も始まるこのタイミングに地協社会専門部会主催の『東四国地協改革フォーラム地域懇談会』を4月12日(土)に香川県高松市「高松国際ホテル」において開催しました。労働組合の政治活動は選挙ばかりとイメージされています。何故、政治活動が必要であるのか、その根本的な意識改革を目的にしている今年度は、支援議員として協力をいただいている「岡野朱里子」高松市議会議員の講演と、電機連合政治センター井村和夫事務局長からの講演をいただきました。岡野議員からは、議員になる背景と志を語っていただき、マニフェスト(公約)の進捗状況を議会報告として講演をいただきました。井村事務局長からは「電機連合の政策制度要求実現活動」として、産別組織が取り組んでいる内容を含め、日本社会や電機産業の現状の課題や将来に向けて対策が必要である内容の講演をいただきました。



毎月第1月曜日に(株)マックス(福祉共済センター代理店)より共済メールマガジンを各地協宛に配信頂き、共済や保険に関する情報をいただいています。その内容をご紹介します。

みなさんは自分に「万一」のことが起きたときに備えをしていますか。いつ起こるのかわからない「万一」に対して、いくらくらい備えればよいのでしょうか。

## 1. 決して他人事ではない「万一」のこと

### 【25秒に1人が亡くなっています】

男性79.94歳、女性86.41歳——こんな日本人の平均寿命からは、なかなかピンとこないかもしれませんが、しかし、年間で約126万人(1日あたり約3,442人)の人が亡くなっています。これは、年間で全人口の100人に1人、また、25秒に1人が亡くなっていることとなります。「万一」は決して他人事ではありません。

※年代別にみると、高齢の人が多いのはもちろんですが、死因別にみると、20、30歳代の死因は他の年代と比べて「不慮の事故」が多くなります。「不慮の事故」はいつ起こるのか誰にもわかりません。若いからといって、他人事とはいえませんね。

- \*厚生労働省「簡易生命表」(平成24年)
- \*厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」(平成24年)

### 【7割の人が何らかの準備をしています】

自分の「万一」に備えて経済的な準備をしていますか?——70.5%の人が何らかの手段で「準備をしている」と回答しています。30~60歳代では、約7~8割の人が何らかの準備をしており、20歳代でも4割以上の人がすでに準備を始めています。若いころから「万一」を他人事とは思わず、自分のこととして意識することが大切なのではないでしょうか。

## 2. いくら備えたらいいの?

「万一」のときに、いくら備えたら安心でしょうか。基本的な考え方として、「必要となるお金」から「入ってくるお金」を差し引くことで、どのくらい補えばよいのか(必要保障額)を算出します。

必要となるお金(支出見込額) -  
入ってくるお金(収入見込額) = 必要保障額

### <必要となるお金>

- 遺族の生活費
- 子どもの教育費
- 子どもの結婚資金
- 住居費用
- 自分の葬儀費用
- 負債の清算資金
- 相続費用・相続税
- 予備費
- その他 ( )



### <入ってくるお金>

- 公的保障(遺族年金など)
- 企業保障(死亡退職金、弔慰金など)

- 自己資産(預貯金、有価証券、売却可能資産など)
- 配偶者の就労収入
- その他 ( )

## 3. 「万一」のときの収入見込みは?

「万一」のとき主な収入となるのは「遺族年金」ですが、自分が加入している制度と本人死亡時の家族構成により、「もらえる、もらえない」や「受け取れる年金額」が変わります。

### <遺族基礎年金額>

基本額: 778,500円(定額) <年額> (a)  
加算額: 子ども2人目まで・1人につき224,000円 <年額> (b)  
子ども3人目以降・1人につき74,600円 <年額>  
※子どものみが受給する場合は2人目からが加算対象です。

### <遺族厚生年金額>

#### 遺族厚生年金の簡易計算 <年額>

【加入期間25年未満

(昭和21. 4. 2以降の生まれ)の場合】

[平成15年3月以前の勤務期間が多い人]

入社してから今までの月給の平均額 × 1.68

[平成15年4月以降の勤務期間が多い人]

入社してから今までの年収(月給+賞与)の平均額 / 12ヵ月 × 1.30

<例>組合員(男性) 35歳・配偶者(女性) 33歳・  
第一子6歳・第二子3歳・  
平均標準報酬月額が30万円の場合 (c)  
受け取れる公的年金額 月額 約134,700円  
{778,500(a) + 224,000(b) × 2  
+ 300,000(c) × 1.30} ÷ 12 ÷ 134,700

## ◆今後の主な改正予定

現在、「子のいない妻」や「夫」は遺族基礎年金を受給できませんが、平成26年4月以降に父子家庭となった「子のいる夫」は受給できるようになります。

出典: 生命保険文化センター「遺族保障ガイド」(2013年12月改訂)

## 4. 「万一」に備える電機連合共済

病気や事故などによる「万一」に備えて、残されたご家族の生活費をサポートする「ファミリーサポート共済」、ガンや自宅療養にも対応する幅広く手厚い補償の「けんこう共済」、「けんこう共済」に全労済の団体生命・交通災害共済がセットされた「けんこう共済アシスト」、など充実した制度が揃っています。電機連合の組合員だけが加入できるこれらの共済をぜひ活用しましょう。

4月1日から消費税増税が始まりました。「8%に増えた」「10%に増える」ことに対応するため、あなたは何か考えていますか？ 保険料や住宅ローンといった固定費は、一度見直すだけで生活のレベルを変えずに節約が見込める可能性があります。電機連合福祉共済センターの共済は、一般的な保険とは違い、労働組合が主体となって取り組んでいる共済であるため、加入者が安心できる保障内容となっており、さらに掛け金も安価となります。同じ保障内容の一般保険から見直せば、可処分所得の向上にもつながります。

# ファミリー サポート共済

電機連合

たとえば 月々の掛金 **910円** で、約 **668万円** (月額約10万円/受取期間5年)を受け取れます

(組合員C05コースの場合)  
受取額(受取開始時)は、2013年6月1日現在の  
基礎年金(予定利率等)で計算したもので、  
将来の基礎年金(予定利率等)の変動により変動  
(増減)することがあります  
積立型の貯蓄制度ではありません  
脱退時の解約返戻金はありません

〈遺族生活保障〉

組合員の期待に応えて

2014年6月  
新登場

## 5つの特長

- 1 組合員または配偶者が死亡・重度障がいとなった場合にご家族へ共済金を年金方式(分割)でお支払いします
- 2 電機連合組合員57万人のスケールメリットを活かした制度です
- 3 万が一の場合に、ご家族への「精神的サポートサービス」もご用意しています
- 4 満65歳まで継続できます
- 5 毎月の掛金は便利な口座振替です



●お問い合わせは... 電機連合福祉共済センター ☎0120-11-7272 (フリーダイヤル) ☎03-3452-2825 (ファミリーサポート専用)

# 電機連合の けんこう共済 がお手伝い

保険の見直しで  
**減らそう掛金 増やそう安心!!**

掛金が割安にもかかわらず、  
幅広く手厚い補償

- 自宅療養でも給付(休業補償)
- ガンに手厚い補償
- 入院は初日から365日分までの支払い
- 日常生活やレジャーにも安心な特約
- 「ガン特約」ガンと診断確定されたとき一時金200万円

基本契約本人死亡時、配偶者の  
継続加入が可能となります  
制度改定



●お問い合わせは 電機連合福祉共済センター ☎0120-04-6488

自動努力のお手強い 電機連合  
**ねんきん共済 悠々プラン**  
【国出企業年金保険(生保) 新国保年金共済(全労済)】  
助け合い、思いやり、  
あなたに寄り添う  
電機共済



- スケールメリットを活かした制度
- 豊富な年金受け取りコース
- 安心な積立制度
- 税負担の軽減効果
- 便利な積立方法
- 65歳まで継続可能

●お問い合わせは 電機連合福祉共済センター ☎0120-10-6911

## 心のなやみ相談

無料カウンセリング  
「電機連合ハートフルセンター」



プロカウンセラーが組合員ならびに  
ご家族の悩み事を一緒に考えます。

フリーダイヤル

0120-331-556

携帯電話(通話料自己負担)

03-3455-54120

## 無料法律相談

くらしの法律相談



相続、金銭、夫婦・親子関係、  
その他日常生活でお困りのこと  
など何でもご相談ください。顧  
問弁護士がお答えします。  
受付は東四国地協事務局まで(弁  
護士と日程調整をします)

法律相談申込用紙は  
各組合にあります。